

平成24年度 社会福祉法人 和光会 事業報告

総括

平成24年度は、特養は増床効果が1年間フルに寄与し、業績も好調に推移した1年であった。一方、在宅、特にデイサービス部門はインフルエンザの流行が大打撃となり、ほぼ2週間閉鎖に近い状況に追いこまれた。苑内での発生は防げたものの、地域や家族での流行により利用を中止せざるを得ない状況であった。

職員の採用に関しては、^①退職者が例年に比して非常に多くなり、移動の多い1年であった。

また、口腔ケアの充実を目的として、歯科衛生士を採用したが、^②入院日数が明らかに減少するなど、効果がみられている。

重油は、キロ当たり77円から89円と高止まりの状態であった。

当法人も12年目を迎え、設備や車両が老朽化してきたが、デイサービスの使用車両を4月に1台購入し、ヘルパーステーションの車両も、^③日本財団を利用して買い換えた。

最後に、24年度は新たな借入金や投資はなく、財務状況の回復に努めた1年であったが、同時に第5期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に応募し、平成26年度の地域密着型介護老人福祉施設の整備の内定を受け、飛躍の足がかりを築いた1年であった。

資料①

23名退職 (パート 6人
常勤 17人 (Ns5人、介12人))

理由	勤務不良	6人
	高齢	3人
	多忙	5人
	人間関係	2人
	出産	2人
	進学	2人
	死亡	1人
	不明	2人

資料②

	人数	総日数	誤嚥性肺炎
平成23年度	13人	531日 (295日)	2人
平成24年度	11人	269日 (179日)	0人

資料③

日本財団 助成 490,000円
施設負担 217,375円 (登録費用含む)

(注) 日産ノート 1,244,050円